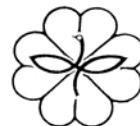




民生委員・児童委員は、いつもそばにいます



～広げよう、地域に根ざした思いやり～

5月12日は、民生委員・児童委員の日です。

この日から活動強化週間として、担当地区の民生委員・児童委員が各家庭を訪問し、PRカードを配布します。(留守のお宅には、ポストに入れさせていただきます。)

「絆」の大切さを実感した東日本大震災から2年が過ぎました。私達も地域の人々とのつながりを大切に、より広げようと活動しています。お気軽に声をかけてください。

行政とのパイプ役として、支援に協力してまいります。

PRカード

人権 それは愛

問合せ／教育文化振興課 ☎990-9011
企画財政課 ☎991-1815



今月は「松伏町小・中学校人権作文集 - 第12集 -」の作品の中から、小学校4年生の作品を紹介します。

友 だ ち

わたしは、ひまわり組の一年生と友だちになりました。学童にその子が見学に来たときわたしの方を見て、「友だちになろう。」って言っているみたいでした。わたしも、そのとき、同じことを思いました。

その子は、女の子で、いつも笑顔で、やさしい子です。大声でどなったり、悪口を言ったりしません。わたしは、そういうところが好きです。だから、わたしはいつも、その子といっしょに遊んでいます。

学童に帰ると、その子とわたしで、一りん車の練習をしています。わたしは、一りん車はできるけど、その子はまだ走れません。それで、わたしは教えてあげています。手を持ってあげて、いっしょにすすめるようにしています。わたしが、教えてあげるとその子は、とてもうれしそうです。その子がうれしそうにしてくれると、わたしは、教えてあげてよかったと思います。そしてわたしもうれしい気持ちになります。

ときどき、その子と遊んでいるとき、話が通じなくなってしまうことがあります。その子は、鉄ぼうがじょうずなので、わたしが、「前まわりをやってみて。」と言ったのに、ブランコに行き始めてしまいました。声はきちんと聞こえていたのにブランコに行き始めてしまいました。しかたがないのでわたしもブランコのところに行きました。

話がうまく通じないことがあっても、わたしは気にしないでいっしょに遊びます。どうしてかという、わたしは、その子が好きだからです。わたしがその子を好きと思っていると、その子も同じことを思ってくれるんだと思います。話がうまく通じなくても、気持ちは通じていると思います。これからも、いろいろ教え合って、仲良くしていきます。いろいろな友だちをわたしから好きになって、友だちをたくさんつくりたいです。

この人権作文は、児童・生徒のみなさんに、人権や差別について考えていただき、他人の心の痛みがわかる、差別のない・許さない・見のがさない人になってほしいと願って作成されています。

